



114
A1950
2

又受ケ濁酒製造ノ事
許ラ受ケルコトヲ得スル以上五百円以上ノ金又ハ
第四条酒類ノ製造スル者ニ其造石数ニ應テ九割合
第従ヒ造石税ヲ課ス
第一種 清酒濁酒白酒味醂
第二種 焼酎酒精
一石金十円
一石金十二円

Handwritten text in cursive Japanese (Sōsho) on a separate piece of paper pasted onto the document.

造免
免許
未奇
府免
焼酎



114
A1950
2

114
A1950
1

劉成剛 奉旨 送

甘叔 官 承 掌

王 叔 具

十日 廿

相向 承 承 承 承

左 隈 号 相 承 承

不 燒 耐

政府 免

大 求 奇

免 許

造 免

割 合

許 受

承 承

承 承

114
A1950
2



酒造税法改正事項

第一条此税法ニ於テ酒類ト称スルハ清酒濁酒白酒味醂焼酎

第二条酒類ヲ製造セルトスル者ハ製造場一箇所毎ニ政府免

許ヲ受ケ可シ其製造ヲ廢セントスルトキ免許ヲ取消テ求ム可

シ清酒製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ濁酒製造ノ免許

ヲ受ケ濁酒製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ清酒製造ノ免

許ヲ受ケルコトヲ得ス凡ソ上五百円以下、五百金又ハ銀十兩

第四条酒類ヲ製造スル者ハ其造石数ニ應テ九割合ニ

第一種 清酒濁酒白酒味醂 一石金十円
第二種 焼酎酒精 一石金十二円

Handwritten notes in Japanese cursive script (sōsho) on a separate sheet of paper, including the characters '品名' (Product Name) and '数量' (Quantity).

第七條政府ハ酒類ヲ製造スル者既稅又ハ連稅ヲ謀ル所為アリト認ルルハ前條ノ納期ニ拘ハラス造石稅ノ全部若ク一部ヲ徵收シ又ハ其免許ヲ取消スコトアル可シ

第二十二條免許ヲ受ケスレテ酒類製造用ノ酒母醗又ハ酒類ヲ製造シタル者ハ五十円以上五百円以下ノ罰金又ハ造石稅三倍ノ罰金ニ處シ已ニ賣捌キタルトキハ其代價ヲ追徵ス免許ヲ受ケスレテ酒類製造用ノ酒母又ハ醗白酒精耐ノ一種又ハ數種ヲ通シテ一石以下ヲ製造シタルモノハ三十円以上三十円以下ノ罰金又ハ造石稅三倍ノ罰金ニ處シ已ニ賣捌キタルトキハ其代價ヲ追徵ス

第一條此法律ニ於テ混成酒ト稱スルハ尤ニ掲クルモノヲ謂フ

但ホクトメートル十度以下ナルヲ要ス

第二條清酒及燒酎ニ酒精混成酒若クハ其他ノ酒類ヲ混和スルヲ許サス

第三條混成酒ヲ製造スル者ニ其造石數一石ニ付金十円ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス

第八條第二條ヲ犯シタル者ハ五十円以上五百円以下ノ罰金又ハ造石稅三倍ノ罰金ニ處シ已ニ賣捌キタルトキハ其代價ヲ追徵ス

酒精營業稅法改正事項

第二條本法ノ營業ヲ為サントスルモノハ先ツ官廳ノ特許ヲ受ク可シ
特許ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

酒類増税案ニ就テ
 現内閣ノ酒税増加案提出ノ計畫テラヲ聽クヤ久シ其提
 案世ニ出ツルノ日ハ必スヤ酒精營業税法混成酒税法等ニ
 根本的改正ヲ加ヘ酒精ノ密輸入ハ勿論混成酒ノ通税ハ充分
 之ヲ防止シ国库ノ歳入ヲ増加スルト共ニ酒造營業者ヲ保
 護シ得ヘキモノナラントハ吾人ノ刮目期待スル所ナリトモ何ソ
 因ラン其提案ノ徒ラニ枝葉末節ヲ事トシテ毫モ根本的改
 正ニ意ヲ致サルコト如斯甚タレカラントハ
 夫レ酒精ノ輸入セラルヤ之カ十中八九ハ密輸入ニシテ公然
 税関ヲ通過スルモノハ纔カニ其一ニ止マルト混成酒ノ十中
 八九カ脱税品ニシテ其課税シタルハ是又其一ニ過キサ
 ルコトハ已ニ當業者ノ一般認識スル所ニシテ殆ント疑ナキ

第一條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第二條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第三條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第四條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第五條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第六條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第七條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第八條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第九條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ
 第十條 本邦産酒精ノ密輸入ニシテ其額一トシテ一トシテ

ノ事實ナリトス斯ク巨額ノ密輸入品ト脱税品トノ横行スル
 ハ要スルニ内地ニ於テ密輸入ニ係ル酒精ノ販賣ニ容易ナ
 ルト混成酒ヲ製造スルニ付不正ノ原料即密輸入ノ酒精ヲ
 得ルヲ容易ナルト之ニ加フルニ一旦混成酒トナル上ハ其
 混成酒カ脱税品ナルヲ甄別スルト至難ニシテ從ツテ脱
 税品ヲ販賣スルノ容易ナルニ起因セシハアラス果シテ然ラハ
 其流弊ノ根源タル酒精販賣ノ取締方法ヲ緊肅セシカ
 之レカ枝葉末節ヲ度外ニ附シ去ルモ其密輸入ト課税
 通税ヲ防止スルハ蓋シ易クタラン然ルニ事此ニ出テスニテ
 徒ラニ塊ヲ追ヒ影ヲ尋テ朝ニ一法ヲ改メ夕ニ一令ヲ更フルニ
 弊害續出豈實際限アルヘケシヤ所謂其根本的改道^正タル
 種ビアルヘレト云モ吾人ノ所見ヲ以テスレハ其方法ノ最モ簡

ニシテ徵稅費ノ最モ少ク而シテ現行条約上ニ此ノ支障ナ
 キモノハ酒精營業ヲ特許制トナシ其營業者タルノ資格ヲ
 適度ニ定メ其負數ハ各都市ノ需要ヲ充タスヲ度トシテ
 之ヲ許可スルニテ而シテ尚ホ從來ノ實際ニ徵スルニ各種ノ
 酒類ニ多量ノ酒精ヲ混和シ名ヲ酒類ニ籍リテ其
 酒精ニ異ナラサルモノヲ販賣シ酒精營業稅法ヲシテ其効用
 ヲ失却セシレルノ好徒頗ル多キハ是又明白ナル事實ナレハ
 他物ニ酒精ヲ混入シタルモノニシテ「ホクトノート」十度以上ニ及
 フトキハ^{總テ}酒精營業稅法ノ支配ヲ受ケレメ以テ其奸
 策ヲ未だニ防止シ又彼ノ酒精ニ水ノミヲ混和シタルモノハ
 如キハ比較的稀薄ナル酒精ト云フ可クシテ素ヨリ混成酒
 ヲ以テ目ス可カラサルハ論ナキニヨリ当然酒精營業稅法ヲ

適施シ実質上ノ通税ヲ防遏セサルヘカラサルハ勿論ナリ
要スルニ政府案ノ外尚ホ改正ノ要莫ク擧ケレハ

酒精營業税法

第二条本法ノ營業ヲ為サントスルモノハ先ツ管廳ノ特許ヲ受

第十三条ノ次ニ左ノ一条ヲ加フ

第十四条 特許ノ関スル細則ハ大蔵大臣之ヲ定ム

混成酒税法

第一条此税法ニ於テ混成酒ト称スルハ左ニ掲クルモノヲ謂フ

但シ酒精ヲ混和シタルトキハ「ホクトメートル」十度以下ニ要ス

其他ノ条項ニ改正ノ大方針ニ基キ多少ノ改正ヲ加フル

ノ必要アルモ右ハ容易ノ業ニ屬スルヲ以テ特更ニ茲ニ喋
喋スルノ要ナカル可ク若シ一幸ニ前記ノ方針ニ依リ根本
的ノ改正ヲ加フルトテ得ハ國庫收入ノ増加ハ一千二百力
円ニ止マラサルノミナラス内地ノ酒類製造家ヲ十分ニ保護
シ得ラル可クシテ年々歳々逐次國庫ノ歳入ヲ増加シ得
ルハ明確ニシテ毫モ疑フ容ル可カラサルモノト思科セリ

商標の保護法 五、商標の保護法 六、商標の保護法
要するに、政府が、外國の商標を、保護するに、
第一、商標の保護法 第二、商標の保護法
第三、商標の保護法 第四、商標の保護法
第五、商標の保護法 第六、商標の保護法
第七、商標の保護法 第八、商標の保護法
第九、商標の保護法 第十、商標の保護法
第十一、商標の保護法 第十二、商標の保護法
第十三、商標の保護法 第十四、商標の保護法
第十五、商標の保護法 第十六、商標の保護法
第十七、商標の保護法 第十八、商標の保護法
第十九、商標の保護法 第二十、商標の保護法
第二十一、商標の保護法 第二十二、商標の保護法
第二十三、商標の保護法 第二十四、商標の保護法
第二十五、商標の保護法 第二十六、商標の保護法
第二十七、商標の保護法 第二十八、商標の保護法
第二十九、商標の保護法 第三十、商標の保護法
第三十一、商標の保護法 第三十二、商標の保護法
第三十三、商標の保護法 第三十四、商標の保護法
第三十五、商標の保護法 第三十六、商標の保護法
第三十七、商標の保護法 第三十八、商標の保護法
第三十九、商標の保護法 第四十、商標の保護法
第四十一、商標の保護法 第四十二、商標の保護法
第四十三、商標の保護法 第四十四、商標の保護法
第四十五、商標の保護法 第四十六、商標の保護法
第四十七、商標の保護法 第四十八、商標の保護法
第四十九、商標の保護法 第五十、商標の保護法
第五十一、商標の保護法 第五十二、商標の保護法
第五十三、商標の保護法 第五十四、商標の保護法
第五十五、商標の保護法 第五十六、商標の保護法
第五十七、商標の保護法 第五十八、商標の保護法
第五十九、商標の保護法 第六十、商標の保護法
第六十一、商標の保護法 第六十二、商標の保護法
第六十三、商標の保護法 第六十四、商標の保護法
第六十五、商標の保護法 第六十六、商標の保護法
第六十七、商標の保護法 第六十八、商標の保護法
第六十九、商標の保護法 第七十、商標の保護法
第七十一、商標の保護法 第七十二、商標の保護法
第七十三、商標の保護法 第七十四、商標の保護法
第七十五、商標の保護法 第七十六、商標の保護法
第七十七、商標の保護法 第七十八、商標の保護法
第七十九、商標の保護法 第八十、商標の保護法
第八十一、商標の保護法 第八十二、商標の保護法
第八十三、商標の保護法 第八十四、商標の保護法
第八十五、商標の保護法 第八十六、商標の保護法
第八十七、商標の保護法 第八十八、商標の保護法
第八十九、商標の保護法 第九十、商標の保護法
第九十一、商標の保護法 第九十二、商標の保護法
第九十三、商標の保護法 第九十四、商標の保護法
第九十五、商標の保護法 第九十六、商標の保護法
第九十七、商標の保護法 第九十八、商標の保護法
第九十九、商標の保護法 第一百、商標の保護法